

Monimoto9

ユーザーマニュアル

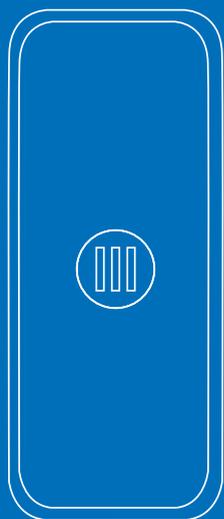


MONI
MOTO 9

この度はMonimoto 9をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

お客様の資産を守るお役に立てましたら幸いです。質問や問題
がございましたら、日本の営業時間内は代理店support@
balticvision.co.jpまで、それ以外の時間帯はアプリのヘル
プセクションからサポートチームにご連絡いただくか、
support@monimoto.com までメールをお送りください。

パッケージ内容：



MONIMOTO本体



キー



リリース可能な
結束バンド

目次

1. ご使用の前に / 4
2. 準備 / 5
3. Monimotoの設置場所について / 7
4. 動作の仕組み / 8
 - 4.1 スタンバイモード / 9
 - 4.2 アラームモード / 10
 - 4.3 アラームモードの解除 / 12
 - 4.4 スヌーズモード / 13
 - 4.5 通常の状態通知 / 14
5. アラームモードのテストについて / 15
6. バッテリーの充電 / 16
7. 再起動と初期化 / 17
8. Monimotoの電源のONとOFF / 18
9. LEDインジケータについて / 19
10. ファームウェアのアップデート / 20
11. スペック詳細 / 20
12. その他の情報 / 22

1. ご使用の前に



このデバイスは、iOS 14またはAndroid 8.0、またはそれ以降のすべてのオペレーティングシステムを搭載したスマートフォンで使用できます。Android携帯はGoogle play storeにアクセスする必要があります。

スマートフォンとMonimotoの接続にはBluetooth 4.0+ (BLE)が使用されるため、スマートフォンにもBluetooth 4.0+ (BLE)機能が搭載されている必要があります。

Monimotoキーの動作の仕組み

Monimotoにはキーが付属しており、キーが近くにあることで、車両を移動する際にトラックがアラームを発するのを防ぎます。

このキーは、車内やキーと一緒にではなく、身の回り(上着、ズボンのポケット、バックパック、バッグなど)に置いておくことをお勧めします。車両/車両のキーと一緒に保管し、車両/車両のキーが盗難にあった場合、Monimotoが近くにキー FOBがあるために、アラームが作動しません。

事前にご確認いただきたいこと:

- ・キーは、干渉のない開けた場所で、最大25mの範囲でMonimotoに接続します。通常は近くの建物や物体が干渉を引き起こすため、距離は短くなります。
- ・各Monimotoは、最大3つのキーとペアリングできます。
- ・各キーは、無制限の数のMonimotoトラックとペアリングできます。
- ・キーの信号が届く近距離に車両を駐車していてアラームの起動を妨げる場合は、設定でキーの信号範囲を狭めることができます。
- ・Monimotoは正確なGPS位置情報を提供するために衛星を探しますが、地下室、ガレージ、エレベーター、地下駐車場、コンクリートビル、トンネルなどの場所ではGPS信号が届きません。このような場合、MonimotoはCell ID技術(携帯電話通信塔の三角測量)を使用しておおよその位置を測定するか、WLSワイヤレス位置情報サービスを使用します。
- ・Monimotoがアラームモードに入り、位置情報を送信するたびに、電池の消耗が早くなります。

2. 準備

STEP 1

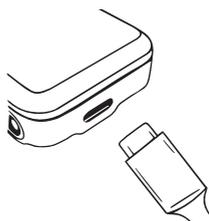
初回仕様前に本体を充電してください。

1



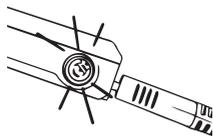
USB-C充電ケーブル
(付属していません)を
使用して、充電をします
。

2



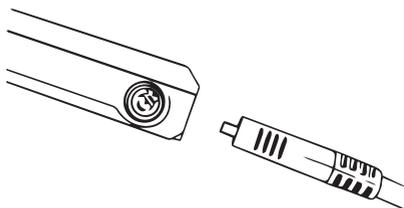
USB-Cを充電
ポートに差し込みます。

3



充電が開始すると、リ
セットボタンのLEDが赤
く点滅を始めます。

4



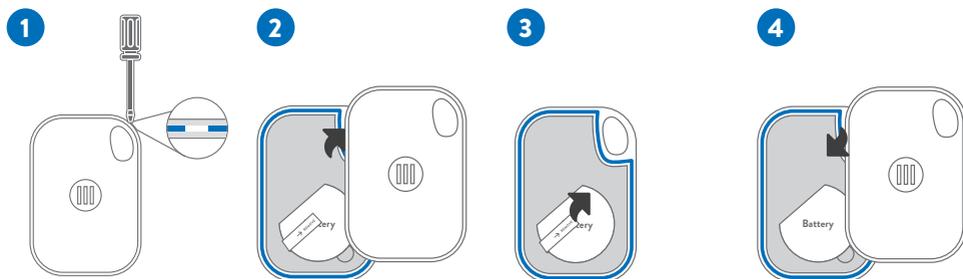
Monimotoの充電が完了するとリセット
ボタンが **赤く点灯します**。

赤い点灯を確認の上、ケーブルを
抜きます。

STEP 2

MONIMOTOアプリとのペアリング

まず、キーの電池の絶縁紙を抜き取ります。



小型のマイナースクリューなどを入れ、キーを左右に開きます。

左右のパーツが外れて、電池が見えます。

絶縁紙を抜き取るとLEDが点滅します。

カチッと音がするまで、しっかりと締め合わせます。

APP STOREかGOOGLE PLAYストアで「Monimoto」と検索します。



Monimotoアプリをダウンロードし、スマートフォンにインストールしてください。最低OS要件はiOS 14とAndroid 8です。Monimotoアプリを起動し、画面に表示される指示に従ってセットアップを行います。Androidユーザーの方は、Bluetoothと位置情報サービスの両方がオンになっていることをご確認ください。



重要: Bluetoothのペアリングはすべてアプリを通してのみ行われます。スマートフォンの設定メニューからは操作しないでください。アプリがセットアップを完了できない場合があります。

セットアッププロセスが完了すると、デバイスからSMSが届きます。その番号を連絡先に適切な名前を追加しておくと、デバイスから電話がかかってきたときにアラームですぐに認識できます。

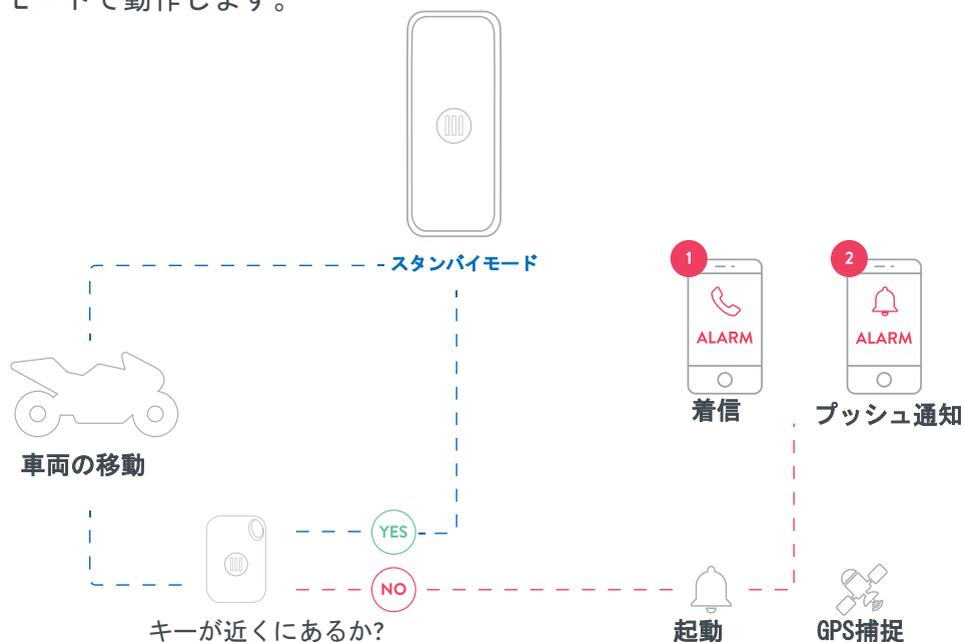
3. Monimotoの設置場所について

Monimotoは、盗難時に車両を追跡することを目的としています。アプリのセットアップが完了したら、いよいよMonimotoをあなたのバイク屋自動車に取り付けます。GPSと携帯電話の電波を受信しやすくするためのヒントをご参照ください：

1. 本体のロゴ  のある面を金属面に向けないでください。電波干渉を引き起こす可能性があります。
2. 理想的にはロゴの面が、外側を向いている状態が電話を受信しやすい状態です。地面に向いていると衛星をとらえにくいことがあります。
3. アラームをテストする場合は、実際の盗難をシミュレートする必要があります。アラームのテスト中、デバイスが建物/ガレージ/作業場/地下にある場合は、GPS信号を受信できず、代わりにGSMのおおよその三角測量位置に依存します。建物はGPS信号に干渉します。
4. パニアケースなどデバイスの四方がたくさんの金属で囲まれている場合、信号を受信する能力が妨げられる可能性があるため、車内のさまざまな位置を試してみてください。通常、GPS信号を受信でき、かつ隠れる良い場所を見つけるには、いくつかの実験が必要です。

4. 動作の仕組み

MONIMOTO はスタンバイモードとアラームモードの基本的な2種類のモードで動作します。



重要：アプリは動作において、インターネット回線をメインとして使用しますので、スマートフォンのモバイルデータ通信とWi-Fiの機能は常時ONにするようにしてください。

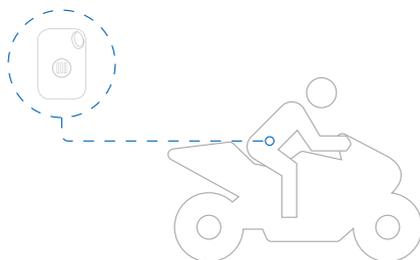
Monimotoは「リアルタイム」追跡装置ではありません。携帯電話ネットワークに常時接続しているわけではなく、常に位置情報を送信しているわけでもありません。Monimotoは携帯電話ネットワークに接続し、アラームモードがトリガーされた時のみ、位置情報を送信します。これにより、バッテリー寿命を大幅に節約することができます。

4.1. スタンバイモード

アプリのセットアップが完了し、デバイスの設定が完了すると、アプリ上で緑色の✓アイコンが表示されます。これは、Monimotoがあらゆる種類の動きを検知し、キーが近くにない場合にアラームで通知する準備ができていることを意味します。他の方法でMonimotoを起動する必要はありません。

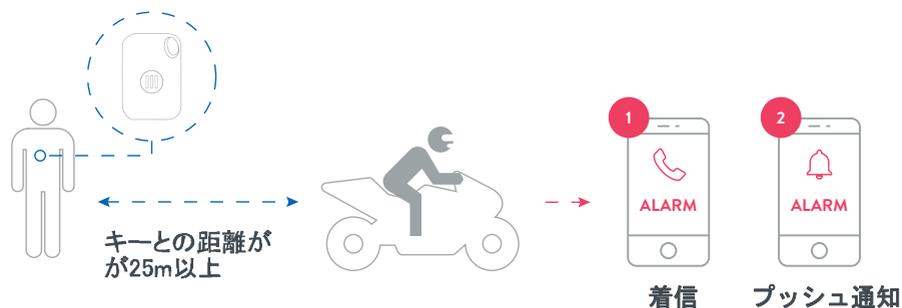
通常の乗車

Monimotoがスタンバイモードの時に、オーナーがキーを持って乗車したり移動しても、アラームは自動解除されて発動しません。



4.2. アラームモード

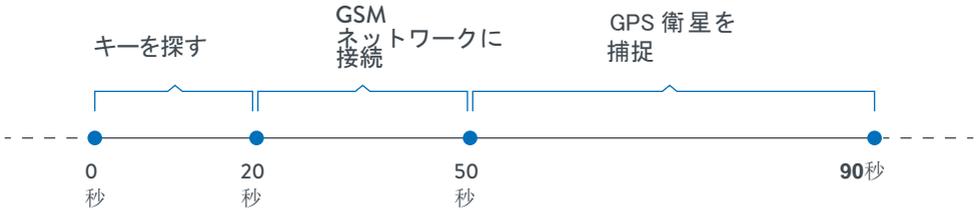
Monimotoが何らかの動き、動き、振動を感知すると、最初にキーのチェックを行います。キーが見つからない場合、デバイスはアラームモードに入ります。



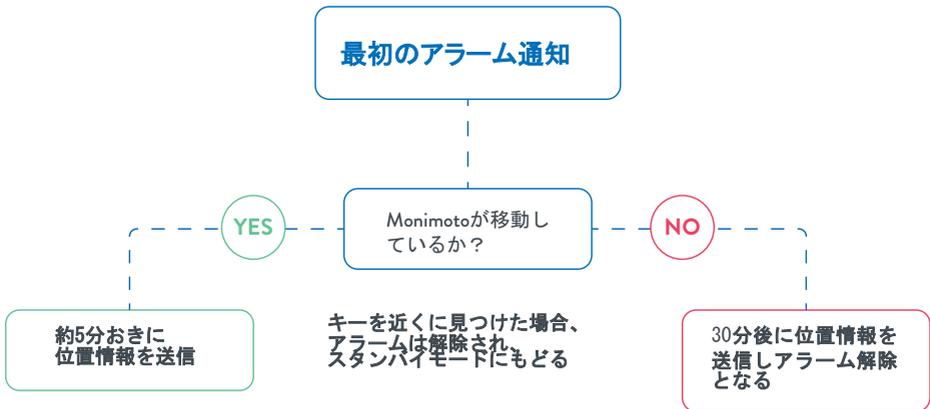
アラームモードにすると、monimotoはまずオーナーの電話番号に電話をかけます。その後、monimotoアプリにプッシュ通知が届きます。正確な位置データが捕捉された場合は、イベントタブにGPS位置情報が表示されます。GPSが利用できない場合は、セルID(LTE-M電波塔の三角測量)を使用したおおよその位置情報、または近くにWi-Fiルーターがある場合は、WLSワイヤレス位置情報が表示されます。デフォルトでは、移動が続いている間は、アラームモードで5~10分毎(ライブトラッキングが有効な場合は2~3分毎)に更新されます。Monimoto搭載車の移動が停止すると、30分後に最終位置が更新され、アラームモードは解除されます。移動が再開されると、アラームは再び開始されます。

挙動のタイムラインを示すと下図のようになります。

アラームモード時の挙動



アラーム開始後の位置情報の送信

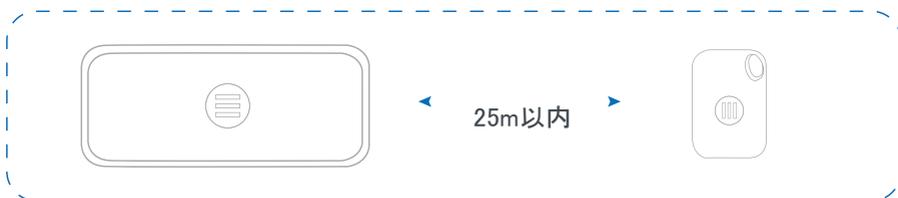


4.3 アラームモードの解除

アラームモードを解除し、スタンバイモードに戻す方法は3種類あります。

- ・**キーによる解除**。本体の近く25m圏内でキーが見つかると、アラームモードは解除され、Monimotoは自動的にスタンバイモードに戻ります。遮蔽物がある場合は作動距離は短くなります。

キーを使っけてスタンバイモードに



- ・**アプリによる解除**。スマートフォンがBluetooth信号の範囲内にある場合のみ、アプリでアラームモードをオフにすることができます。アプリを開き、「設定」タブ-「接続」ボタン(Bluetooth接続の確立)をクリックすると、アラームモードが解除されます。
- ・**30分間動きが検知されない**-Monimotoは最後の位置情報を送信し、アラームがキャンセルされます。

4.4 スヌーズモード

スヌーズモードは、アラームが発動した直後のみ有効な機能です。ホームタブに「スヌーズモードにする」ボタンが表示されます。このボタンをタップすると一定期間Monimotoをスリープ状態にすることができます。このボタンは、アラームが発動してさら数分後には消え、その後はスヌーズモードにすることはできなくなります。スヌーズモードは、キーを家に忘れたままドライブに出かけたてしまい、アラートの受信を停止してバッテリーを節約したい場合に便利です。また、友人に車両を貸したが、キーを渡すのを忘れてしまった場合にも便利です。

- アプリを使用して、Monimotoを1~24時間スヌーズに設定することができます。
- この操作により、Monimotoのアラーム解除され、アラームを発することができなくなります。
- スリープ状態になったMonimotoをリモートで起こすことはできません。
- スヌーズ期間が終了すると、自動的にスタンバイモードに戻ります。
- スヌーズ期間が終了する前にスヌーズモードを終了させる唯一の方法は、携帯電話とトラックがBluetoothの範囲内で接続されることです。

4.5 通常時のステータスアップデート

Monimotoは定期的にバッテリーチェックを行い、ステータスを更新して、スマートフォンに送信します。Monimotoが携帯電話ネットワークの問題に遭遇した場合、またはバッテリーが消耗して定期的なアップデートが実行できなくなった場合は、アプリで通知されます。

定期アップデートの頻度は、Monimotoアプリの「設定」で設定できます。アップデートの時刻は、Bluetoothを接続して「設定>接続」の動作を行った時刻が基準となります。

デフォルトの設定（24時間に1回）を維持し、毎日定期アップデートを受信することをお勧めします。これにより、デバイスが正常に動作していることが保証され、バッテリーが少なくなると通知されます。デフォルトでは、定期アップデートは位置情報を送信しないように設定されています。設定メニューから調整することができます。定期的なアップデートに位置情報を含めて送信されると、バッテリーの消耗がかなり激しくなることを覚えておいてください。

5. アラームモードのテストについて

1. キー FOB を家に置いてください。
 2. 携帯電話の Bluetooth をオフにし、Monimoto アプリケーションを終了します。
 3. Monimoto を搭載した車で屋外に試乗します。
 4. 約1分後に Monimoto から電話があり、その後すぐにアプリにプッシュ通知が届きます。
 5. アプリを開き、正確な GPS、WLS ベース、またはおおよその Cell ID (セルネットワークの三角測量位置) が表示されているかどうかを確認します。
 6. 正確な GPS 位置情報を受信した場合、アラームモードの終了方法のいずれかを使用してアラームを解除します。
 7. おおよその位置を受信した場合は、Monimoto を車両の別の場所に取り付け直すか、もう一度やり直してください。
- 注意：非常に高い建物が近くにある場合、GPS 信号の強度が低下し、正確な位置が取得できなくなることがあります。
8. 正確な GPS 位置が得られるまで、テスト走行を繰り返します。

6. バッテリーの充電

1. Monimotoを充電する前に、USB-C充電ポートに汚れや水がないことを確認してください。
2. USB-C充電ケーブルとアダプターをご用意ください（Monimotoには付属していません）。
3. USB-C充電ケーブルを充電ポートに差し込むと、バッテリーの充電を示す赤色の点滅が始まります。
4. Monimotoが完全に充電されると、リセットボタンのLEDが赤色に点灯します。その後、ケーブルを取り外すことができます。

キーのバッテリー交換

1. 小さなマイナスドライバーを専用の穴に差し込み、ネジって開けます。
2. 2つの黒いパーツを離して開けます。
3. マイナスドライバーで少し持ち上げてバッテリーを取り外し、使用済みのバッテリーは適切に廃棄してください。
4. 新しいCR2032電池をキーに入れます。電池のプラス(+)側が上を向き、マイナス(-)側が下を向きます。バッテリーが正しく装着されていることを示すLEDライトが短時間点灯するはずです。
5. 両側を合わせ直し、「カチッ」という音がするまでしっかりと閉じます。

7. 再起動と初期化

1. リセットボタンを長押しすると、LEDが青く3秒間点滅した後、消灯します。
。（指示されるまで離さないでください）
2. ボタンをさらに11秒間押し続けると、LEDは青色点灯を表示し、1秒後に青色と赤色点灯が同時に点灯します。
3. このタイミングでボタンを離すと、両方のLEDが2秒間消灯し、その後赤色LEDが短く点滅した後、青色LEDが2秒間点滅します。これは出荷時の状態にリセットが成功したことを意味します。



重要: 早く離しすぎると、ステップ2または3の動作が表示されず、代わりにLEDが消灯します。このような場合は、USB-C充電ケーブルを接続してデバイスをオンにし（赤色LEDが点滅するはずですが）、プラグを抜いて最初から手順をやり直してください。

8. Monimotoの電源のONとOFF

Monimotoは、一度正常にセットアップされると、特にスイッチをオフにするか、または電池がなくならない限り、常にオンになっています。



重要：一度デバイスの電源がオフになると、デバイスの電源をオンにするには、USB-C充電ケーブルを充電ポートに1秒以上差し込み、赤色LEDが点滅するまで待つ必要があります。

電源をOFFにする

1. リセットボタンを3秒間長押し→リセットボタンのLEDが青く点滅し消灯します。
2. リセットボタンを離す → デバイスの電源がオフになります。



重要：青色LEDが消灯した後もボタンを離さず、リセットボタンを10秒以上押し続けると、上記セクション7のように誤ってデバイスをデフォルトにリセットしてしまう可能性がありますのでご注意ください。。

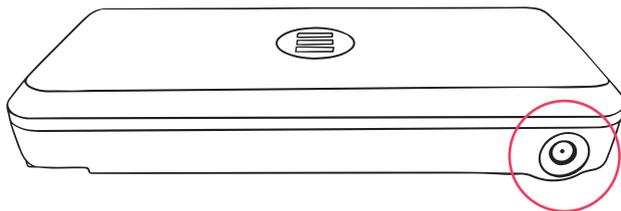
電源をONにする

セクション6のデバイスの充電と同じ手順に従ってください。

1. USB-C充電ケーブルとアダプターを用意する（Monimotoには付属していません）。
2. ゴムプラグを取り外し、USB-C充電ケーブルを充電ポートに挿入します。
3. デバイスの電源がオンになり、充電バッテリーLEDまたは満充電LEDが表示されます。

9. LEDインジケータについて

以下、LEDについての記載は、次の2つのLEDサインについてのものとなります（赤色LED×1 青色LED×1）。ライトはリセットボタンの周りにあります。



LED パターン	説明
赤色点滅	バッテリー充電中
赤色点灯	バッテリー充電完了
赤色短い点滅	スマートフォンでアプリが開いており、アプリに接続中。
短い赤色の点滅、 続いて2秒の青色点滅	デバイスのリセット完了
青色3秒の点滅 続いて消灯	デバイスの電源OFF
3秒おきに赤と青が同時に点滅	デバイスがDFU（デバイスファームウェアアップデート）モードになっています。このメッセージが表示された場合は、アプリ内メッセージ/チャットまたは電子メールでサポートチームまでご連絡ください。 support@monimoto.com

10. ファームウェアのアップデート

ほとんどの場合、ファームウェアは自動的にアップデートされ、何もする必要はありません。しかし、アプリに「新しいファームウェアが利用可能です」というポップアップが表示された場合は、本体とスマートフォンを近くに置いた状態で、アプリ>設定タブ>接続ボタンをクリックすると、「ファームウェアの更新」ボタンが表示されます。

11. テクニカルスペック

本体 サイズ	高さ 15 mm 幅 38 mm 長さ 93 mm
重量	60g
バッテリー	Monimoto本体: 3.7V リチウムポリマー 900 mAh 充電式 キー: 3V リチウム CR2032ボタン電池
動作温度	-15° C から 60° C バッテリー充電可能温度5° C以上 周囲の温度が 5° C から 15° C 通常充電 15° C から 60° C 急速充電可能
充電時間	15° C以上 (急速充電) 満充電まで約1.5時間 15° C 未満 (通常充電) 約6時間
バッテリー 動作時間	Monimoto本体: 最大12か月 キー: 約12か月 ※使用状況により前後します
防塵防水性能	Monimoto: IP68 キー: IP65
アプリ動作要件	iOS 14 または Android 8以降 GooglePlayストアインストール済である必要があります
SIM	eSIM (取り外し不可)
ESIM動作範囲	EU, UK, USA, JP *AUS/NZ は認証取得中

セルラー モジュール	MM9U-4:U-Blox SARA-R422M10S MM9U-5:U-Blox SARA-R510M8S (both from Switzerland)
ネットワーク	MM9U-4: LTE Cat-M1+2G MM9U-5: LTE Cat-M1 詳しくはステッカーを参照ください MM9U-5 は米国など、すでに2Gサービスが終了した国 向けのモデルです。
接続バンド	LTE CAT-M1 周波数バンド: EU 3, 8, 20 USA 2, 4, 5, 12, 13 Japan: 1, 8, 18, 19 Australia and New Zealand: 28 2G (GSM) 周波数バンド: B3(1800), B8(900)
LTE パワークラス (DBM)	23
BLUETOOTH バージョン	LE
ASSISTED GPS	あり
衛星 測位	GPS, GLONASS
室内 測位	Wi-Fi Positioning System (WPS)
USB	C-type
加速度計	3 軸
保証	購入日より2年間。詳しくは保証内容をご確認ください。

* 駆動時間は実際の使用状況により前後します。
満充電の場合、約500回の位置情報送信が可能です。

12. 追加情報

利用規約

以下の利用規約は、Monimotoデバイスの使用を規定し、製品の使用および機能に関する制限に関する重要な情報、ならびに製造者の責任の制限に関する情報を含んでいます。モバイルアプリケーション（以下「アプリ」といいます）をダウンロード、インストール、表示、使用する前に、本規約をよくお読みください。

技術サポート

Monimotoデバイスの継続的かつ適切な操作および中断のないサービスを保証するため、以下のことを確認することはユーザーの責任です：(i) 製品が適切に設置されていること、(ii) 常時インターネットまたはLTEに接続され、電気が供給されていること（低バッテリーは時間内に充電する必要があります）。システムの設置またはその後の使用中に問題が生じた場合は、お住まいの地域の「Monimoto UAB」代理店または販売店にお問い合わせください。詳しくはmonimoto.comをご覧ください。

安全にご使用になるために

運転者と周囲の人々の安全を守るため、以下の安全ガイドラインを読み、それに従ってください：

- 医療機器など、他の機器と干渉したり、危険を引き起こす可能性のある場所では、システムを使用しないでください。
- 危険な環境でシステムを使用しないでください。
- システムを高湿度、化学環境、機械的衝撃にさらさないでください。
- システムの修理は、有資格者のみが行ってください。
- Monimotoを分解しないでください。
- 荒天時の設置やメンテナンスは絶対に行わないでください。
- システムをオフにするには、リセットボタンを3秒間押し続け、ボタンを放します。10秒以上押し続けたままにすると、システムの電源が切れるのではなく、デフォルトにリセットされます。

CE または FCC に関連する無線周波数放射情報：本機器は、固定および移動の使用条件における非管理環境に規定された放射暴露限度に適合しています。本機器は、放射体と使用者または近くにいる人の身体との距離を 20cm 以上離して設置および操作する必要があります。機器が人の身体から 20cm 以上離れていることを確認してください。

保証のプロセス

保証サービスを受けるには、欠陥のあるシステムを購入店、またはMonimoto製品を購入した「Monimoto UAB」正規販売店または代理店に返品してください。保証サービスを受けるには、購入証明書の提出が必要です。

メーカー保証

Monimoto社 は、Monimoto 社による本システムの出荷日から24ヶ月間（保証期間）、本システムの通常の使用において、製造上および材料上の欠陥があった場合に限り、最初の購入者に対してのみ本システムを保証します。保証義務は、消耗品（パワーエレメントおよび/またはバッテリー）、ホルダーおよび筐体には適用されません。保証は、本マニュアルに概説されているすべてのガイドラインに従い、指定された動作条件に従って、システムが意図されたとおりに使用された場合のみ有効です。システムが分解されたり、機械的衝撃、化学薬品、高湿度、液体、腐食性、危険な環境、または不可抗力の要因にさらされた場合、保証は無効となります。

ハードウェアの欠陥が発生し、保証期間内に有効なクレームがあった場合、Monimoto社は独自の判断により、(a) 新品または再生品の交換部品を使用してハードウェアの欠陥を無償で修理するか、(b) 新品または新品もしくは修理可能な中古部品から製造され、元の製品と少なくとも機能的に同等である製品と交換するか、(c) 製品の購入代金を返金します。

有限責任

購入者は、本システムが盗難、強盗、その他の危険のリスクを軽減することに同意しなければならないが、そのような事象に対する保証を提供するものではない。Monimoto社は、システム使用中の個人、財産、または収益の損失に関して、いかなる責任も負いません。Monimoto社はインターネットプロバイダーと提携していないため、インターネットサービスの品質について責任を負いません。また、Monimoto社は、上記のようなリスクにより損害が発生した場合、故障や誤動作により利用者に発生したリスクについて適時に通知されなかった場合を含め、システム利用時の直接的または間接的な損害や損失、未収入による責任も負わないものとします。いかなる場合においても、Monimoto社の責任は、有効な法律で認められている限りにおいて、製品の取得価格を超えないものとします。

消費者保護について

購入国または異なる場合は居住国において消費者保護法または規制の適用を受ける消費者については、本保証により付与される利益は、かかる消費者保護法および規制により伝達されるすべての権利および救済措置に追加されるものとします。

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、お客様は、国、州、または地域によって異なるその他の権利を有する場合があります。

廃棄とリサイクルの情報



本製品に付いているWEEE（廃電気電子機器）のシンボル（左記参照）は、家庭ごみとして廃棄してはならないことを意味しています。人の健康や環境に害を及ぼす可能性を防ぐため、本製品は認可された環境的に安全なリサイクル施設に廃棄してください。詳細については、システム・サプライヤーまたは最寄りの廃棄物処理局にお問い合わせください。

使用済みバッテリーは、説明書に従って廃棄してください。

Monimoto社 は、Monimoto スマートアラームが指令 2014/53/EU の必須要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言します。EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます：

monimoto.com/eu/declaration-of-conformity.

Monimoto UAB, Sauletekio al. 15,
Vilnius, Lithuania LT-10224,
support@monimoto.com

COPYRIGHT © “MONIMOTO UAB”, 2024. ALL RIGHTS RESERVED.

本書に記載されている情報を、「Monimoto UAB」から事前の書面による許可を得ることなく、複製、頒布すること、または第三者に譲渡することを固く禁じます。

「Monimoto UAB」から事前の書面による許可を得ることなく、本書に記載された情報を複製、頒布したり、第三者に譲渡したりすることは固く禁じられています。「Monimoto UAB」は、事前の警告なしに、本書および/または関連製品を更新または変更する権利を有します。



警告!

- 本製品には充電式リチウム電池が内蔵されています。
- 電池カバーが確実に閉まらない場合は、製品の使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管し、サポートにお問い合わせください。
- 電池を火や高温のオーブンに捨てたり、機械的に押しつぶしたり、切断したりすると、爆発する恐れがあります。
- 電池を極端に高温または低温の環境下に放置すると、爆発や可燃性液体・ガスの漏えいの原因となります。

キー（バージョン **KEY4**）に推奨されているバッテリー:

使い捨て**3Vリチウム CR2032**: Energizer CR2032, Panasonic CR2032, Varta CR2032, GP CR2032, Jauch CR2032, Renata CR2032, EEMB CR2032

FCC コンプライアンス情報



このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。

(2)本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

注：本装置はテストされ、FCC 規則パート 15 に従ったクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは本機器の電源を切ったり入れたりすることで判断できます：

- 受信アンテナの向きを変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

製造元が明示的に承認していない改造は、FCC 規則に基づき本機器を操作するユーザーの権限を無効にする場合があります。

III ONI 9
III OTO 9